

日 時 平成21年10月18日午後2時32分キックオフ（快晴）
会 場 エントランスプラザ
相 手 FC 増田
結 果 3－0（1－0、2－0）
得点者 緒方、瀬戸山、黒田
内 容 信じられなあ〜い（ヒルマン監督風）
MVP 緒方、谷之木大明神

今節の相手は FC 増田。昨年1位で、かつ惨敗（0－5）したチーム。11人きっかりしかいないとはいえ、格上の相手。一方フェニックスは、ここまで2勝5敗。リーグ残留には崖っぷち、。守備を固めるため、成長著しい越智と攻撃的MF藤田をサイドバックに据え、守備的に布陣とした。

（前半）

序盤は落ち着いた立ち上がり。10分過ぎから動きが激しくなり、16分黒田からのパスが相手DFに当たり、うまく緒方の前へ。これを落ち着いて決め、何と先制点が転がり込んできた。

ここから増田の猛攻が始まる。縦横無尽にパスを通され、押さえ込まれたものの、黒田らのカウンターで応戦。22分には相手CKからのシュートを谷之木大明神が体でセーブ！

逆に23分には黒田の落としを右サイドから瀬戸山がシュートを放つも、僅かにゴール左に外れる。

28分には、カウンターで持ち込まれ相手FWがフリーでゴール至近距離からシュートするも、ポストを直撃。難を逃れた。その後、前半終了まで、シュートの嵐を守備陣が何とか持ちこたえ、前半を、予想もしない1－0で折り返した。

（後半）

右MFを体調不良にも関わらず頑張った久保から元気坊の牧に交代した以外は、前半同様の布陣。

前半終了時と同様に、パスを通され、自陣に押し込まれてばかりであったが、次第に、相手も焦りが見え始め、前掛かりになったところに、カウンターが通じ、前線の武田が落としたボールを瀬戸山がダイレクトでゴール右隅に鮮やかに蹴り込み、何と・何と2－0！

相手はさらに焦ってくるばかりで、こちらのカウンターが何度も通用するようになり、21分には、右サイド奥から藤田が前線にロングパス。これに追いついた黒田からゴール前のフリーの武田にパス。ごつつっあんゴールで、何と・何と・何と3－0。武田はフェニックス初ゴールであった。

以降は、攻め込む相手に、カウンターで応戦することが試合終了まで続き、相手シュートがバーを直撃する等いろいろあったものの、驚きの3-0で試合終了。これで、残留希望が出てきました。

<今日のポイント>

・「増田が相手じゃ勝てんわな～」という雰囲気、先制点ゲットで一変。相手のミス絡みとはいえ、メンバーのモチベーションを上げる値千金の緒方のゴールであった。また、ドリブルも切れていたのが MVP。

・相手のシュートミスもあったが、前半の猛攻を守備陣が粘り強く対応し、無失点で切り抜けたのが大きかった。とくに谷之木大明神の念力とゴールポストの働きは見事であった。後半も堅実な念力で無失点に貢献。前節でパツとしなかったサイドバック 2 試合目のマツチヨ越智も、無難に守備をこなし、MUD(マッスルディフェンス)を披露した。

・相手が強いので、特に後半は、数年前の得意戦術ロングボール作戦を多用。これが、前線の頑張り、ボールをキープしたり、相手がタッチラインに弾き出したり、裏を取れたり、結果的に試合を五分の展開に持ち込めた。しかも、前半風上を選んだが、後半もいつの間にか風上になり、相手の浅い DF ラインもあり、ロングボールがより生きる結果となった。

・声出し、モチベーションが最後まで落ちなかった。特に、HT 児玉が「打ちたい！打ちたい！ボクちゃんもシュート打ちたいよお～！」という欲求を封印しチームを鼓舞する姿は、チームの士気を大いに上げた。

さて、次節は宮大が相手。今年は残留争いをしてはいますが、かなりの強敵で、今節はベストメンバーの JA 相手に 3-3 の引き分け。一人一人の動きだしが早く、JA と互角に戦っていました。失点シーンは DF ラインがオフサイドの取り損ねで裏を取られ独走を許し失点。次戦のポイントになりそうです。

今節の試合で分かったことは、1 部リーグは格上相手ばかりですが、決して勝てない程の実力差はないこと、そして、勝利の喜びは相手が格上である程大きいだと思います。残り 2 戦、頑張って、忘年会のネタ作りの勤しみましょう！

参加者

<先発>

FW (黒田、武田)

MF (緒方、児玉好、瀬戸山、久保)

DF (越智、赤野、久保野、藤田)

GK (谷之木)

<交代>

後半：久保→牧

後半 25 分：牧→荻窪

審判 主審：甲斐、副審：緒方

監督等 高妻